



SHOKOKAI NEWS



P.2～4

[対談] 日本銀行熊本支店 × 大津町商工会

P.1 — 大津町商工会会長 新年のご挨拶

P.5～7 — 商工会トピックス

P.8 — 女性部・青年部 新年のご挨拶

P.9 — 次の飛躍へ! [株式会社 阿蘇自然の恵み総本舗]

P.10 — HOT NEWS!!

P.11 — JUMP UP! with 商工会 [ごはん屋DE水車 和心garage 利白]



10

2025.1

JUMP
UP!
with 商工会

商工会と企業さんの歩みをインタビュー!
今回は、和食レストラン
「ごはん屋DE水車 和心garage 利白」
の白石勝浩さんです。

和心garage 利白

with SHOKOKAI

今回の
MISSION > 事業承継・引き継ぎ補助金 他

地下水車のある和食レストラン 「ごはん屋DE水車 和心garage 利白」

2024年7月2日にオープンした「ごはん屋DE水車 和心garage 利白」のシェフ兼店長の白石勝浩さん。元製粉工場だった店舗を事業継承し、あか牛などくまもとの食材を使った和を感じる料理や、カフェタイムには季節ごとに変わる米粉や、きな粉がベースの和スイーツを提供しています。

これまで県内の有名ホテルや企業で料理長をつとめてきた白石さん。子どもの大学卒業を機に起業を決意、毎日自宅のある宇土から通い、家族3人でお店を切り盛りしています。「今年51歳。いつかはチャレンジしたいと思っていた」そんな長年の経験を活かし、小鉢や汁物一つひとつの料理に「和の心」を込めます。

大津町で物件探しをしている時に、タイミングよく地下水車のある今の店舗を紹介され「ひと目で気に入った」という白石さん。オープンしてからは、SNSを見て県外から訪れるお客さんもいらっしゃるかと。

専門家がいるから心強い! 「事業承継・引き継ぎ補助金」

お店をオープンするにあたり、まず取り組んだのが店内の改修です。築約100年経つ木造店舗は、冬は寒く夏は暑いのが難点。そこで商工会を通じて「事業承継・引き継ぎ補助金」を申請、専門家による書類作成やアドバイスに助けられました。惜しくも落選したものの、その後商工会の紹介で県の補助金を利用しトイレの改装を実施できました。

「別の自治体にも書類を出しに行ったのですが、大津町は熱量が違うなと感じました」と白石さん。慣れ



シェフ兼店長の白石勝浩さん

ない土地での初めての起業。不安が多い中で、親身に応えてくれる細やかなサポートに信頼を寄せています。

資産管理もおまかせ! 「記帳代行」

いよいよ営業が始まってからは、日計表の管理も依頼しています。「日々の売上と経費等を記入し、月ごとにまとめて渡しています。今まで会社員だったので確定申告もはじめてで、とても心強いです!」。お店はオープンからディナータイムまでフル回転、時間も人手も限られる中で専門家に資産管理をお任せできるのはとても助かっているそうです。

今後は、趣きのある古民家の雰囲気を活かし、クラシック演奏会など音楽を楽しむ場としても活用、集客につなげていきたいと考えています。フロアの空調設備を整えることも喫緊の課題。1階フロアはもちろん地下の活用も視野に入れ、「また来たい」と思ってもらえるお店づくりを目指します。

担当者より

担当の松本です。商工会主催の創業セミナーでのご相談をきっかけに、商工会の専門家派遣事業を活用、事業承継計画の策定から開業までご支援させて頂きました。大津の歴史を語る水車や建物、そして前経営者の思いを大切に、新たな形でお店をオープンさせた白石さん。多くの人が集う大津町の観光名所として、更なる発展を期待しています。





企業対談

「大津町商工会 会長」

松永 幸久

YUKIHIISA MATSUNAGA

「日本銀行熊本支店 支店長」

田原 謙一郎

KENICHIRO TAHARA

地場企業に価格転嫁が

さらに広がることを期待

松永会長 この度はお忙しい中、対談をお引き受けいただきありがとうございます。

田原支店長 こちらこそよろしくお願いたします。

松永会長 「日本銀行」と聞いて、勝手に敷居高く感じおりましたが、支店長とお会いして下がりました(笑)。経済やお金の話は大事ですので、会員の皆さまにもお役立ていただきたいと思っています。まず、皆さんも気になってると思います、我が国の経済物価情勢についてご紹介いただきたいと思っています。

田原支店長 わが国経済は、一部に弱めの動きもみられますが、緩やかに回復しており実質GDPは26年度にかけて1%前後と、潜在成長率を若干上回る成長を続けると見ていま

す。まず企業部門ですが、企業収益は改善を続けており、大企業が顕著ですが、中堅・中小企業も過去最高レベルです。そうした下で、企業はしっかりと設備投資を増やす計画を示しています。家計部門では、所定内給与は賃上げを受けて伸びを高めています。ひと頃弱めの動きとなっていた消費は、物価上昇の影響が続いているものの、所得環境の改善を背景に緩やかな増加基調に転じています。このように、企業・家計で所得の改善が支出に回る動きが見られており、今後前向きな動きが徐々に強まっていくと想定しています。続いて物価動向ですが、生鮮食品を除く消費者物価の前年比は24年度は2%台半ばと

新年のご挨拶

会員の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、日ごろから商工会の運営に特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、長く世界を席巻した新型コロナウイルス感染症も影を潜め、やっと元通りの生活に戻ったと思う間もなく、元日早々から能登半島地震が発生。石川県を始め北陸地方では、未だ復旧復興半ばにあり心を痛めております。私も役員で昨年11月には、激励支援のため石川県の穴水町商工会を訪問。義援金を持参してまいりました。一日も早い復興をお祈り

するものです。

大津町を顧みますと隣町菊陽町にTSMC進出が決まり昨年12月から操業いたしております。この間、宿泊業や飲食業等に於いては感染症の影響で停滞していた景気を取り戻すかのように活況を見ました。一方で交通渋滞、地下水問題、地価や人件費高騰、人手不足など様々な課題も発生しております。

これらに対応するため本会では、昨年5月の通常総会で3つの重点項目を掲げ、これらの項目に基づく事業を展開してまいりました。1、2例を上げますと、まず昨年9月、人材育成を目的とした初めての取り組みとして、中

大きく変わっていく大津町。より何が必要か常に考えて活動したい



大津町商工会会長
松永 幸久

も込めた「おもてなし夜市・クリスマス夜市」などイベントにも取り組んでおります。

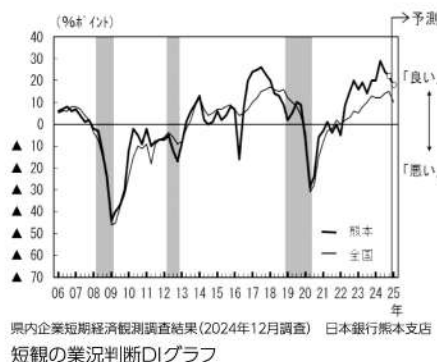
さらには駅前や商店街の活性化を後押しするための助成。そして、地藏祭やつじ祭り、からいもフェスタなど例年実施されている行事にも積極的に参画してまいりました。

いずれにしても、これからも大きく変わろうとしている大津町を見据え地元商工業者の方々に何が必要かを念頭に商工会の活動を行ってまいりたいと存じます。最後に今年が皆様にとって、飛躍の一年となることをご祈念申し上げます。

なつた後25年度以降は、おおむね2%程度で推移すると見えています。生鮮食品を除く消費者物価の前年比は、直近は2%台半ばです。輸入物価上昇を起点とする価格転嫁の影響が減衰していますが、賃金上昇等を受けサービス価格は緩やかな上昇が続いているとみえています。

松永会長 次に熊本県の経済の展望と期待、T S M Cの進出による中小企業への影響などお聞かせください。

田原支店長 全体として、熊本県内の景気は回復していません。まず外食は、県外客を中心



に好調を維持しています。宴会の需要はまだコロナ前の状況には復していないものの、忘年会予約の出足はコロナ前を上回っているといった声が聞かれています。

また、インバウンド客による消費、例えば高価格帯のカバン・財布や腕時計、絵画なども好調を維持しています。インバウンド客の売上については、為替レート変動の影響を指摘する声(家電量販店などから)も聞かれますが、為替には然程敏感ではない層も相応に存在するとみられ、全体としては好調に推移しています。

個人消費は緩やかに回復していますが、物価高が続くもとで消費者がモノの値段の動向に敏感になっているとの声も根強く聞かれています。例えば、米価格が上昇していることなどを受け、飲食店では値上げの実施がみられますが、値上げ後の売上動向をみると消費者がより安い商品に

人材確保のためにも さらに魅力ある企業に

松永会長



松永商工会会長
プロフィール
大津町商工会会長。不動産売買・賃貸管理業「株式会社 歩不動産」代表取締役会長。2009年から商工会会長に就任。会員の皆さまの事業発展のため、日々奮闘中。

シフトしたり、注文点数を減らすといった動きもみられています。消費者の属性やシーンによって強い動きと弱い動きのコントラストが目立っています。今後の動向を注意深くみて参りたいと思います。

観光については高水準です。インバウンドが好調な一方、国内客がやや伸び悩んでいます。外国人宿泊客は、主に韓国や台湾の方が多く、各地で外国人客に合わせた取り込みの工夫が求められます。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっています。貸家は県北の半導体集積エリア周辺での居住ニーズを映じ、昨年来前年比でみてプラスに寄与していることが多いのは、熊本ならではのの特徴ともいえます。

熊本県の企業部門の動きをみていきますと、企業の景況感では過去と比べても高目の水準で推移しています。ただし、コスト高や人手不足を指摘する声も引き続き聞かれており、これらが県経済に及ぼす影響については、今後注視する必要があります。

24年度の設備投資は4年連続で2桁のプラスとなる計画で設備投資はつきりと増加しています。寄与度の大きい製造業の投資を牽引しているのは、半導体関連や輸送用機械

などで将来の需要拡大を見越した生産ラインの新設や生産能力を高める省人化投資、脱炭素関連投資などの動きが活発となっています。非製造業では、顧客獲得を企図した新規

出店や改装工事などがみられています。

価格転嫁に関しては、大きく二つの動きに分かれています。ように感じています。すなわち、インバウンド客や県外客を対象にしたビジネスでは、値上げ価格転嫁が相応に進んでいる、一方で、地元客を対象に商売、事業をされている先では、値上げや価格転嫁に相当慎重というものでした。ただ価格転嫁はこの1年でだいぶ広がってきたと感じています。

台湾からの半導体大手企業の進出により、熊本県経済に幾つかの変化が起きています。サプライヤー企業の新規進出・設備増強の動きが徐々にみられているほか、半導体関連企業の従業員や建設作

業員向けの住宅着工が増加しており、それに伴い周辺地域の地価も大幅に上昇しています。

また、台湾との交流拡大による観光関連の需要も増えています。

地域の雇用創出や賃金水準の引き上げといった効果が出ている一方で、当地の中小企業にとっては人材のつなぎとめや人件費上昇への対応が生じていることでもあります。熊本でも人手不足感は強まっています。こうした状況が地場企業の経営にどのような影響を与え、各企業はどのように取り組もうとされているのか、引き続き注目してまいります。

今後の課題としては、新た

どれだけ新たな需要を取り込めるか、が課題

田原支店長



田原熊本支店長
プロフィール

神奈川県出身。東京大学経済学部卒業後平成5年に日本銀行へ入行。その後、業務局、情報サービス局、金融市場局、政策委員会室、金融研究所、金融研究所歴史研究課長、帯広事務所長、総務人事局人材開発課長を経て、令和5年4月に熊本支店長に配属



熊本県内の景気動向に関する定例記者会見

な需要を県内企業がどれだけ取り込めるのか、また人件費上昇を受けて自動化やDXなど生産性を高める取り組み、あるいは値上げにより収益を確保できるかどうか。中長期的にも新たな工場の用地確保、交通インフラの整備・拡充、専門人材の育成などが課題としてあります。人件費が上がり地場企業がこれについていけず、人材獲得競争に遅

れをとっているのではないかと、この声があることも承知しています。円滑な価格転嫁の推進について、県と各経済団体が取り組んできているほか、最低賃金引上げに向けて中小企業が利用できる助成金制度もあります。厳しい環境の中ではありますが、賃上げと価格転嫁が地場企業においてもさらに広がっていくことを期待したいです。

また、人材確保に向けた処遇改善や求人エリアの拡大など、各社で懸命に努力されており実際に採用に繋がった事例を伺っています。

松永会長 私ども商工会でもや々と育てた人材がT S M C関連に人が流れるのは一番心配されています。企業として

どのように繋ぎ止めをやっていくのか。今後は、企業側もより魅力ある会社を作っていくかないと人が流れてしまうので、大事なことです。

土地価格上昇については、T S M C本社がある台湾の新竹では、桁外れに上昇しているそうです。いずれ熊本もそうなるのでは、と心配になります。熊本県の均等ある発展という面でも大事な話ですので、これからもご指導いただければと思います。

また最後になりますが、熊本支店の取り組みやP Rなどありますでしょうか。

田原支店長 昨年7月、20年ぶりに新しいお札の発行(改刷)を行いました。新しい千円札の肖像は熊本県にゆかりのある小国町出身の北里柴三郎博士です。改刷以降、熊本の皆様に新しいお札を早く安心して使っていただけるよう発行管理の仕事をしております。



店内見学の様子

その他、広報活動の充実化として、熊本支店のホームページをリニューアルしました。その中でも、北里柴三郎博士の人となりがわかるようなコンテンツも充実させています。ぜひご覧ください。

また店内見学を見直し、楽しめるコンテンツなど好評をいただいております。予約が必要ですがぜひお気軽にお越しただき、お金を身近に感じる機会にしていければと思います。

松永会長 現在の経済状況など、詳しくお聞かせいただきありがとうございます。

(対談日11月26日)

令和6年度 商工会青年部活動報告

青年部は総勢50名(R6年12月1日現在)の部員で様々な活動に取り組んでいます。青年部活動は多岐にわたり、様々な活動を行っておりますが、今回は主な活動のみを紹介させていただきます。

[会議]

役員会、定例会ともに毎月開催しております。会議終了後には、深堀会を開催し、部員間で情報交換、交流を行っています。その他に各種委員会を設置し、担当する事業についての会議も適宜開催しております。



[青年部絆運動]

商工会の日(6月10日)に合わせ、町内の清掃活動を実施。



[青年部PR事業]

SNS(インスタグラム)を活用した情報発信に取り組んでいます。また、青年部員の情報発信も行っております。

※インスタグラムのフォロワー1241人(R6年12月1日現在)



[イベントの開催及び出店協力]

今年は10月13日に「おおづオータムフェスタ」を中央公園で開催し、約5,000名のお客様にご来場いただきました。地域を盛り上げ、青年部や部員の事業をPRする貴重な場となりました。その他、つつじ祭り、地蔵祭、からいもフェスティバル、夜市などにも参加協力しています。



[視察研修事業]

他の青年部活動を学ぶことで意識改革や資質向上を図り、もって青年部活動の活性化を図るために実施。

※写真は令和5年度の様子。



[研修会]

外部から講師を招き、知識やスキルを習得する場として開催。今年はビジネスマナーを研修。



[R6災害支援活動(能登半島地震)]

募金活動を実施し、大津町を通して被災地に寄付。



令和6年度 商工会女性部活動報告

商工会女性部は、部員数62名で活動しております。定期的に役員会を開催し、取り組む事業について話し合いを行っています。令和6年は主に、「再生資源物回収事業」「花壇の整備・花植え事業」「献血事業」「視察研修事業」「地域イベント出店事業」に取り組んでまいりました。

特に、花壇の整備・花植え事業につきましては、これまでの活動実績が認められ、**道守九州会議様より道守功労者表彰**を受賞いたしました。女性部の長年の活動が認められ、大変光栄に思います。この栄誉は、ひとえに皆様のご支援、ご協力によるものと、あらためて感謝申し上げます次第でございます。今後も、女性部は本活動を通して**地域の景観を守り、**

美しいまちづくりを目指し、継続して取り組んでまいります。

また、視察研修事業につきましては、佐賀県嬉野市と大町町を訪問し、**魅力ある地域づくりや女性部活動について学び、交流を図ることができました。**

全女連、県女連、城女連事業につきましては、**スポーツ大会や研修会に積極的に参加し、県内外の女性部員と交流を図りました。**



役員会



県女連ミニバレーボール大会



再生資源物回収&花壇整備・花植え



視察研修



地蔵祭



道守九州会議 授賞式



献血事業

・商工会・ トピックス

商工会の活動のアレコレ、お伝えします!

台湾視察研修報告

昨年、11月27日から30日にかけて3泊4日の台湾視察研修を実施!!

TSMCの進出を機に、台湾の経済団体や商業施設等の視察することで相互の理解と信頼を深め、今後の事業展開や地域商工業の発展に寄与することを目的として実施したものの。

視察研修には、本会役員のエアポートホテル熊本の山下秀貴理事を団長に会員事業者8名、役場商業観光課職員2名、商工会職員1名、総勢12名が参加しました。



視察先は国の奨励金通達、中小企業の経営支援、補助金申請、海外中小企業の交流行事、新しい技術開発発表イベント、異業種の懇談会開催などを実施する政府機関である「台湾中小企業総会」。台湾と世界各地の企業双方が投資進出する際の法務全般の指導、審査、アドバイス等を実施する政府機関である「台湾投資事務所」。それから台湾進出のための情報収集を行い、台湾でのネットワーク構築を強化する「肥後銀行台北事務所」を訪れて、意見交換会を行いました。視察先では、台湾の飲食チェーン店の経営者や商店街のメンバーも参加され、教育・観光・飲食業など、その他多くの分野で協力し、お互いのビジネス展開の可能性を広げる手段について熱い意見交換を行いました。

参加した皆様全員が地域の今後の動向に着目し、転機をチャンスに変えるため、活発な意見交換が行われ有意義な研修が行えたと感想を述べておられました。



そのほか、TSMC本社がある新北のサイエンスパーク、台湾超高層ビルで有名な台北101、士林夜市などを見学。情緒あふれる台湾の風情も体験しました。

日本を訪れる台湾の観光客は日本の食べ物・温泉・豊かな自然環境など多様な体験を求める傾向が強まっており、熊本県の知名度も上がってきているようです。TSMCの進出によって交通渋滞、人手不足や人件費・地価の高騰など課題も多くありますが、今後も引き続き積極的な交流を行い信頼関係を築いていくことでTSMC本社のある新竹地区のサイエンスパークのように大津町も大きく発展していくことを確信して帰国の途に着きました。

女性部新年のご挨拶

地域企業、行政、 商工会と一体となり 地域を盛り上げたい



女性部部長
橋本 千春

大津町商工会の会員の皆様、明けましておめでとうございませう。令和7年の新春を迎え、皆様にはつつがなく新春をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、部員の皆様を始め会員の皆様方のご支援・ご協力のおかげで事業運営することができました。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の大津町においてもつじ祭り、からいもフェスティバル、そして大津地蔵祭など大きな行事が実施されました。また、新たな地域行事として、大津夜市も開催されました。女性部といたしましては、毎年実施している花壇整備・花植え事業や再生資源物回収事業などに加え、地域イベントへの出店事業にも注力して取り組ん

でまいりました。大津町は、TSMCの進出に伴い、地域の経済情勢、生活環境が大きく変化し、昨年は、地価や人件費の高騰、交通渋滞、環境問題など多くの課題も取沙汰されております。そのようなかで商工会女性部が地域にできることとして、地域の景観を守り、地域のコミュニティを繋ぎ、地域企業、行政、商工会と一体となり、地域を盛り上げていくことが重要だと考えております。令和7年は、更に女性部事業活動に邁進してまいりる所存です。で、今後とも変わらぬ皆様のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとりまして、更なる飛躍の年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

青年部新年のご挨拶

責任を自覚し、 地域の担い手として行動



青年部部長
藤原 芳彦

新年明けましておめでとうございませう。昨年に引き続き今年も青年部部長を仰せつかつております藤原と申します。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

我々商工会青年部は、「かけがえない人たちと、かけがえない地域のために」をスローガンに掲げ、脈々と続く先人たちの教えに習い、事業を引き継ぎながら活動しております。また、昨年は新たに大津町商工会青年部が主催となり「おおづオータムフェスタ」を開催させていただきました。

たのは松永会長はじめとする商工会の方々、地域の方々、そして青年部部長が一致団結して取り組んだからこそ開催することができました。ご協力いただいたすべての方々に感謝申し上げます。

昨年大津町商工会青年部は、イベントや事業において活動する際、みんなの笑顔が溢れていました。そんな部員の姿をみて部長としてすこ

く嬉しく感じましたし部員の皆と苦楽を共に活動したことで、新たなかけがえない仲間が増え、私自身の仕事や地域に対しての向き合い方や考え方をかえてくれたのが商工会青年部の仲間です。先人の方々が商工会青年部という素晴らしい組織を築いてくれたことに心から感謝し、その想いを引き継ぎ、若き事業家として同じ時代を担う大切な仲間と共に、笑顔で本年も商工会青年部の部長として活動していきます。

最後になりますが、我々商工会青年部は「かけがえない地域とかけがえない人たちのために」部員みんなが青年経済人として自覚し、責任を持ち、地域の担い手として行動していかなければならないと考えます。みんなが楽しく笑顔が絶えない会を目指し、本年も活動していきます。皆様の益々のご指導とご鞭撻を頂戴できれば幸いです。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

HOT NEWS!!

会員の皆様へのお役立ち情報や、
商工会のホットな話題をお届けします！

店舗の新築・改装などを行った事業所の方へ

店舗の新築・改装などの融資金利子補給制度のご案内

店舗の新築、改装、工場の機械及び駐車場設備に必要な資金の融資を受けた場合、その利子の6割を町が補助する制度です。補給を受けるためには、申請が必要です。申請書類は役場商業観光課に用意してあります。

利子補給の額 1月1日から12月31日までの間に支払った借入金の利子(延滞利子除く)の6割以内、但し融資金の限度額は1,000万円

利子補給金の期間 融資を受けた月から3年間

その他要件等については、事前に大津町役場商業観光課 096-293-3115までお問い合わせください。

確定申告・納税をする皆様へ

確定申告の時期が近づいてきました。 みなさま準備は整っていますか。



毎年、大津町商工会では確定申告にあたり 所得税および消費税申告に係る個別相談会を開催しております。2・3月に開催する予定としております。税理士から直接指導・アドバイスをいただくことのできる場となっておりますので、ぜひご活用ください。また、確定申告には、売上・仕入・経費等のわかる資料や生命保険・個人年金等の控除証明書等が必要となりますので、ご相談の際はご持参ください。

所得税および消費税申告に係る個別相談会の日程等については現在未定ですが、決まりましたらご案内いたしますので、相談をご希望の方は大津町商工会までご連絡ください。

人材育成に活用しませんか

社外研修「OFF-JT」に関わる費用を負担します。

本会では、中小企業大学校等の開催する研修等、人材育成を目的とした社外研修に関わる費用の一部を助成する制度があります。TSMCが進出する中、人材育成の必要性が高まっております。是非、この制度をご活用ください。

助成対象者 本会会員企業で1事業年度1会員企業5名以下。

助成対象研修機関 中小企業大学校、その他公的機関による研修。

助成対象及び額 受講料の半額または3万円のいずれか低い額及び旅費(本会旅費規程による交通費並びに宿泊費に基づく)で5万円を限度



企業の数だけドラマがある――

010

株式会社 阿蘇自然の恵み総本舗

次の飛躍へ！

大津町の企業を直撃インタビュー！自然を活かし安全で機能的な食を創造する。



1 自社工場横の畑で菊芋を収穫する代表の山口隆さん(中央)と社員の皆さん 2 「天然のインスリン」と呼ばれることも 3 クッキーには肥後製油の菜種油を使用

美と健康の祭典で 優秀賞を受賞！

熊本・九州で育った菊芋やピーマンなどの健康野菜を使ったサプリメントや健康食品を製造・販売する株式会社阿蘇自然の恵み総本舗。

昨年9月、地域発の美容・健康ビジネスの登竜門「ジャパンメイド・ビューティーアワード2024」のインナービューティ部門で「菊芋入り玄米クッキー」が優秀賞を受賞した。

地域資源の活用だけでなく、「安心安全」「美味しさ」「高品質」にとことんこだわった企業努力が認められたかたちだ。

母の糖尿病、 そして菊芋との出会い

主に、菊芋の栽培・加工・販売までを一貫して行う会社だが、そもそものきっかけは約20年前に遡る。当時、東京でコンサルティング業を営んでいた代表の山口隆さんが帰郷して目の当たりにしたのは、インスリン注射を打つ母の姿だった。糖尿病になりやすい家系だと知り「どうにかできないか」と健康に役立つ食材を探し始めたところ、熊本の小国町で昔から自家用に育てられていた菊芋と出会った。

菊芋は現代人に不足しがちな水溶性食物繊維を豊富に含み、血糖値や腸内環境に良い影響が期待できる「スーパー食材」だし、衛生面から加工・製品化のハードルが高く、納得のいく商品が少なく感じていた山口さん。ならばと、本業の傍ら自ら商品開

発に取り組み、小国町で創業した。なにもかもが手探り、さらに寒さと隣り合わせの厳しい環境だった。その後移転を重ね、有機JASやFSSC22000といった国際的にも厳格な、食品安全の認証工場を大津町に設立。卸販売のほかEC販売やOEM生産にも乗り出した。

「自然をベースに 健康を支援したい」

サプリメントなど高機能食品を扱う工場だからこそ、常に安心安全を心がけ、衛生面に細心の注意を払い、日々の掃除は怠らない。一般的な食品基準が一般生菌数1万以下のところ、300以下になるよう管理。それにより長期保存できるだけでなく、菊芋特有の土臭さも抑えられ美味しさに繋がっている。

品質にこだわり、広い視野で挑戦を続ける山口さんの源流には、東京の生活で見失ったからこそ気づけた、自然への感謝がある。コンサルティングで多忙な日々を送っていた頃、たまたま訪れた栃木の大自然の中で塩おにぎりをほおばった瞬間、なぜか涙が溢れ出た。自然が体の中に染み込んでいくような感覚に衝撃を受けたという。

「豊かな自然を活かすことで、健康と美容が育まれ地域が活性化し循環する」。当たり前だからこそ気づかれにくい土地の宝を活かし、ローカルからグローバルへ。挑戦し続ける姿勢は、持続可能な地域産業の要となり得るだろう。

株式会社 阿蘇自然の恵み総本舗

熊本県菊池郡大津町杉水西上原1193-5

☎096-234-8655 FAX 096-234-7758

☎電話受付 平日9:00~17:00



2011年創業。熊本の農産物を使い、多様なライフシーンに合わせた自然・健康食品を製造販売する。また農業生産法人として休耕地を活用し有機菊芋を栽培。国際的な食品安全規格のFSSC認証取得工場で加工し、BtoBをメインに輸出も視野に入れた製造・開発を行う。

